



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月10日

上場会社名 株式会社 テン・アローズ 上場取引所 大証二部
 コード番号 9885 URL <http://www.ten-arrows.com/>
 代表者 代表執行役社長 林 勝哉
 問合せ先責任者 経理部長 谷口 博樹 TEL(078)792-7414

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	12,969	△3.1	575	10.0	639	1.1	293	—
19年3月期第1四半期	13,381	△16.3	523	797.1	631	330.0	△401	—
19年3月期	54,570		518		873		△2,545	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	15.16	—
19年3月期第1四半期	△20.72	—
19年3月期	△131.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	36,589	21,010	57.4	1,084.04
19年3月期第1四半期	38,960	23,489	59.6	1,198.78
19年3月期	37,369	21,381	57.2	1,103.20

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△1,145	△641	△127	8,215
19年3月期第1四半期	△3,091	2,052	330	7,852
19年3月期	△3,329	4,054	840	10,130

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成19年5月11日に公表いたしました中間期および通期の連結業績予想に変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	26,300	△5.1	1,200	30.0	1,300	20.7	640	—	33.02
通期	53,800	△1.4	2,180	320.1	2,400	174.9	1,070	—	55.21

※業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。
 実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績に支えられ、設備投資の増加や雇用情勢の改善など緩やかながら景気は拡大基調を辿ったものの、個人消費につきましては、不透明感が継続し、確実な景気回復までには至りませんでした。

このような中、当社企業グループにおきましては、新たな経営体制の下、永続的な成長と発展を実現するため、グループビジョンを新たに掲げ、レディースインナー等卸売事業とギフト卸売事業のコア事業を柱とした、事業の建て直しを図る体制作り に注力してまいりました。

レディースインナー等卸売事業につきましては、ビジネスメンバーを中心としたシャルレビジネスにおいて、商品面、組織面、販売面を始め、社内風土等の現状分析ならびに課題を鮮明に打ち出し、全社一丸となる目標を掲げるとともに、創業以来受け継がれている「お客さま第一主義」の実践を再確認いたしました。

業績面につきましては、ナイティ・水着・アウター等の商品群を中心とした積極的な新商品を投入いたしました。当第1四半期の売上高は72億17百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

ギフト卸売事業につきましては、プレミアム商品・旬のデザート・日本全国ご当地自慢・こだわり商材の4つを特集した「2007 お中元カタログ」を発刊し、既存販売店の掘り起こしと新規販売店の開拓を積極的に展開いたしました。また、不採算ビジネスの見直しと新規チャネルの開拓にも注力いたしました。

このように選択と集中によるコア事業の再生に注力いたしましたが、昨年の希望退職に伴う営業人員の減少の影響もあり、当第1四半期の売上高は56億86百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

以上の結果、連結売上高は129億69百万円（前年同期比3.1%減）となりました。利益面につきましては、ギフト卸売事業でのリストラ効果による販管費の減少などにより、営業利益は5億75百万円（同10.0%増）、経常利益6億39百万円（同1.1%増）、四半期純利益2億93百万円（前年同期は4億1百万円の純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

総資産は、有価証券の減少42億円、現金及び預金の増加29億81百万円等により、前連結会計年度末に比べ7億79百万円減少して365億89百万円となりました。

負債は、未払金の減少5億71百万円等により、前連結会計年度末と比べ4億8百万円減少して155億79百万円となりました。純資産は、四半期純利益2億93百万円、利益配当5億81百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少して210億10百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.2%から57.4%に増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ19億14百万円減少し、82億15百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、11億45百万円となりました。主な要因は、仕入債務の増加額5億16百万円、未払金の減少額4億44百万円、法人税等の支払額13億33百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、6億41百万円となりました。主な要因は、定期性預金の増加額10億円、有価証券の売却・償還による収入5億2百万円、有形固定資産の取得による支出1億25百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、1億27百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加額3億円、配当金の支払額3億88百万円であります。

3. その他の定性的情報

[会計処理の方法における簡便な方法の採用]

税金費用の計算および、影響額が僅少なものについて一部簡便な方法を採用しております。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	前第1四半期末 (平成19年3月期)	当第1四半期末 (平成20年3月期)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)	百万円	百万円	百万円	%	百万円
I 流 動 資 産	21,303	23,393	2,090	9.8	24,978
現金及び預金	5,513	8,660	3,147		5,679
受取手形及び売掛金	4,403	4,209	△193		4,218
有 価 証 券	3,327	2,712	△615		6,912
た な 卸 資 産	6,683	6,158	△525		6,234
繰 延 税 金 資 産	42	1,227	1,185		1,222
そ の 他	1,415	603	△812		787
貸 倒 引 当 金	△83	△177	△94		△75
II 固 定 資 産	17,657	13,196	△4,461	△25.3	12,390
有形固定資産	5,359	4,234	△1,125	△21.0	4,277
無形固定資産	1,403	684	△719	△51.3	731
投資その他の資産	10,894	8,277	△2,616	△24.0	7,381
資 産 合 計	38,960	36,589	△2,370	△6.1	37,369
(負 債 の 部)					
I 流 動 負 債	12,847	12,985	137	1.1	13,413
買 掛 金	4,427	3,691	△736		3,174
短 期 借 入 金	3,456	4,522	1,065		4,225
未 払 金	2,252	1,562	△690		2,133
賞 与 引 当 金	252	157	△95		395
そ の 他	2,459	3,052	593		3,485
II 固 定 負 債	2,623	2,594	△28	△1.1	2,574
長 期 借 入 金	1,272	1,075	△197		1,110
退 職 給 付 引 当 金	973	1,036	63		1,008
そ の 他	377	481	104		455
負 債 合 計	15,471	15,579	108	0.7	15,987
(純 資 産 の 部)					
I 株 主 資 本	23,393	20,961	△2,431	△10.4	21,249
資 本 金	3,600	3,600	—		3,600
資 本 剰 余 金	4,897	4,897	—		4,897
利 益 剰 余 金	16,093	13,661	△2,431		13,949
自 己 株 式	△1,197	△1,198	△0		△1,198
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	△159	47	207	—	131
そ の 他 有 価 証 券	△164	3	168		87
評 価 差 額 金					
為 替 換 算 調 整 勘 定	4	44	39		43
III 少 数 株 主 持 分	256	0	△255	△99.6	1
純 資 産 合 計	23,489	21,010	△2,479	△10.6	21,381
負 債 純 資 産 合 計	38,960	36,589	△2,370	△6.1	37,369

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期 (平成19年3月期)	当第1四半期 (平成20年3月期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
I 売上高	13,381	12,969	△411	△3.1	54,570
II 売上原価	8,514	8,469	△44	△0.5	35,849
売上総利益	4,866	4,499	△366	△7.5	18,720
III 販売費及び一般管理費	4,343	3,924	△419	△9.6	18,201
営業利益	523	575	52	10.0	518
IV 営業外収益	124	84	△40	△32.4	433
受取利息及び配当金	45	33	△11		198
有価証券売却益	43	—	△43		80
ギフト券未交換益	19	30	11		76
その他の他	17	19	2		77
V 営業外費用	16	20	4	28.7	79
支払利息	8	19	10		48
社宅解約損	2	—	△2		—
持分法による投資損失	3	—	△3		—
その他の他	1	1	△0		30
経常利益	631	639	7	1.1	873
VI 特別利益	24	—	△24	—	30
固定資産売却益	—	—	—		7
貸倒引当金戻入益	24	—	△24		—
保険解約益	—	—	—		22
VII 特別損失	777	0	△776	—	3,872
固定資産除売却損	0	0	0		58
減損損失	—	—	—		1,695
事業整理損	—	—	—		233
貸倒引当金繰入額	—	—	—		138
役員退職慰労金	777	—	△777		792
特別退職金	—	—	—		254
物流拠点再編等損失	—	—	—		646
その他の他	—	—	—		53
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	△120	638	758	—	△2,969
法人税等	285	343	58	20.3	△170
少数株主利益又は少数株主 損失(△)	△5	0	5	—	△253
四半期(当期)純利益又は 純損失(△)	△401	293	695	—	△2,545

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (平成19年3月期)	当第1四半期 (平成20年3月期)	(参考) (平成19年3月期)
区 分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	△120	638	△2,969
減価償却費	53	50	249
無形固定資産・長期前払費用償却費	133	106	605
受取利息及び配当金	△45	△33	△199
支払利息	8	19	48
有価証券売却損益(利益:△)	△43	—	△80
減損損失	—	—	1,695
固定資産除却損	0	0	58
事業整理損失	—	—	233
物流拠点再編等損失	—	—	646
役員退職慰労金	777	—	792
特別退職金	—	—	254
売上債権の増減額(増加:△)	△851	8	△665
たな卸資産の増減額(増加:△)	△1,229	76	△836
旅行積立金の増減額(増加:△)	—	—	387
仕入債務の増減額(減少:△)	597	516	△655
未払金の増減額(減少:△)	△1,675	△444	△613
前受金の増減額(減少:△)	40	141	115
預り金の増減額(減少:△)	47	244	△3
未払消費税等の増減額(減少:△)	△36	△107	135
前払年金費用の増減額(増加:△)	△19	△27	△93
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△9	△0	△47
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△8	28	26
その他	△723	△1,050	△124
小計	△3,103	166	△1,040
利息及び配当金の受取額	21	39	193
利息の支払額	△7	△18	△48
法人税等の支払額	△2	△1,333	48
役員退職慰労金の支払額	—	—	△964
特別退職金の支払額	—	—	△1,300
事業整理損による支払額	—	—	△58
物流拠点再編等損失による支払額	—	—	△159
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,091	△1,145	△3,329
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期性預金の増減額(増加:△)	23	△1,000	△725
有価証券の売却・償還による収入	3,095	502	6,695
有価証券の取得による支出	△634	△10	△1,732
有形固定資産の取得による支出	△51	△125	△172
無形固定資産の取得による支出	△336	△2	△526
その他	△43	△4	515
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,052	△641	4,054
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金増減額(減少:△)	862	300	1,649
長期借入金返済による支出	△46	△38	△252
配当金の支払額	△485	△388	△581
その他	△0	△0	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	330	△127	840
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	2
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△708	△1,914	1,569
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,560	10,130	8,560
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,852	8,215	10,130

(4) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,232	6,119	29	13,381	—	13,381
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	42	44	(44)	—
計	7,232	6,121	71	13,425	(44)	13,381
営業費用	6,541	6,252	108	12,902	(44)	12,858
営業利益	691	△131	△36	523	(0)	523

当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	7,217	5,686	65	12,969	—	12,969
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	5	6	(6)	—
計	7,217	5,687	71	12,975	(6)	12,969
営業費用	6,651	5,577	154	12,384	9	12,394
営業利益	565	109	△83	591	(15)	575

(参考) 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) (単位:百万円)

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	29,695	24,638	235	54,570	—	54,570
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	116	121	(121)	—
計	29,695	24,643	351	54,691	(121)	54,570
営業費用	27,505	25,721	724	53,952	98	54,051
営業利益	2,189	△1,077	△372	738	(220)	518

(注) 1. 事業区分の方法は、商品の種類、販売形態、販売経路および重要性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な商品・サービス

レディースインナー等卸売事業 レディースインナーを主体とする衣料品・化粧品等
 ギフト卸売事業 贈答品、慶弔見舞品、その他ギフト商品全般
 その他の事業 不動産管理、コンピューターソフト開発・保守等

3. 当第1四半期の営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用の金額は16百万円であり、その主な内容は当社の管理部門に係る費用であります。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期および当第1四半期において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

③海外売上高

前第1四半期および当第1四半期において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。